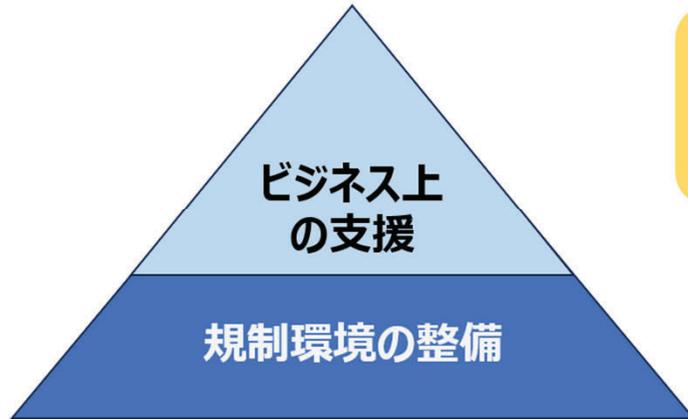


粧工会のKPI設定の背景及び内容

日本化粧品工業会の思い

JCiA
Japan Cosmetic Industry Association

ビジネス基盤となる規制環境を整備し、さらに輸出支援を充実させることで日本化粧品工業会ビジョン2030の一つである「世界で存在感のある化粧品産業を目指します」を実現させます



輸出額目標

0.8兆円(2022) → 2兆円(2033)*

*内閣府知的財産戦略本部 R6 新たなクールジャパン戦略より
クールジャパン関連産業：19.1兆円(2023)→50兆円(2033)
化粧品産業：0.8兆円(2022)へ外挿すると、2兆円(2033)

2025/11/20
自民党J-Beauty産業研究会資料

KPI 案1

以下の点から、KPIとして日本からの輸出額（下表a+b+c+d）に海外生産・海外販売額（e+f）を足した額をとする（案1）

- ・消費者は原産国だけでなくブランドを見てJ-Beautyを認識していること
- ・クールジャパン戦略でも海外生産・海外販売の額を含んだ目標としていること

		日系企業		外資系企業	
		JBブランド	Non-JBブランド	JBブランド	Non-JBブランド
日本生産 (Made in Japan 表示)	日本販売	—	—	—	—
	海外販売	a億円	b億円	c億円	d億円
海外生産 (Made in Japan 以外表示)	日本販売	—	—	—	—
	海外販売	e億円	—	f億円	—

JBブランド：日本に起源をもつブランド

Non-JBブランド：日本以外に起源をもつブランド

<算出方法>

各社から提出する海外生産比率 $r_i = e_i / (a_i + b_i + e_i)$ または $r_i = f_i / (c_i + d_i + f_i) \rightarrow a + b + c + d + e + f = (a + b + c + d) / (1 - r)$

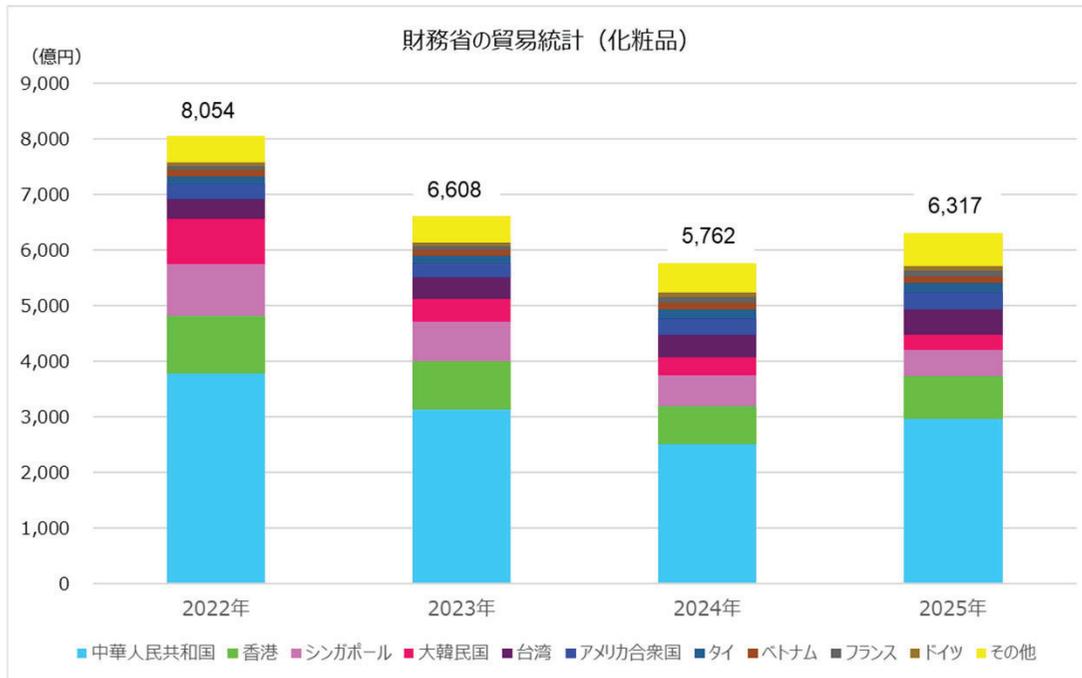
1：調査協力会社は毎年データ「海外生産比率 r_i 」と輸出額a+bまたはc+dを提出する

2：調査協力会社から提出された「海外生産比率 r_i 」の加重平均を「日本の化粧品業界の海外生産比率r」と仮定する

KPI 案2

現状、KPIとして設定をしたい「日本に起源をもつブランドの海外販売実績」情報の取得が困難であり、有志企業からの情報提供を基に類推するしかない

より現実的なアプローチとしてMade in Japanの化粧品輸出金額をKPIとする（案2）



輸出金額はFOBベースで集計

1. 商品の原価（工場出荷価格）
2. 日本国内での輸送費
3. 輸出港での積み込み諸経費・梱包費

HSコード	品目名（定義）	含まれる具体的な製品
3303	香水類及びオーデコロン類	パルファン、オードトワレなど
3304	美容用、メイクアップ用、皮膚用	ファンデーション、口紅、日焼け止め、スキンケア
3304.1	口紅、その他の唇用	リップスティック、リップグロス
3304.2	アイメイクアップ用	アイシャドウ、マスカラ、アイライナー
3304.3	マニキュア用、ペディキュア用	ネイルエナメル、除光液
3304.91	おしろい（固形にしたものを含む）	フェイスパウダー、パフ用粉
3304.99	その他（スキンケア等）	乳液、化粧水、美容液、クリーム
3305	頭髪用の調製料	シャンプー、整髪料、染毛料
3305.1	シャンプー	液体・固形シャンプー
3305.9	その他	ヘアトニック、ポマード、ヘアカラー
3307	ひげそり用、脱臭剤、浴用剤	シェービングクリーム、入浴剤

KPIの検討 例) スイスブランド

スイスネス法 (Swissness Act) : 2017年施行

スイスブランドの「高品質・信頼・高級感」というブランド価値を守り、不正利用を防ぐことを目的として、製品やサービスに「スイス製 (Made in Switzerland) 」と表記したりスイスの国旗 (スイス・クロス) を使用したりするための厳格な基準を定めた法律

①自己責任を原則 ②事後監視の徹底 ③立証責任は企業にある

議論中のJ-Beautyロゴ政策を施行する場合には、報告義務を課すことも一案

カテゴリ	条件
食品	原材料の重量の80%以上がスイス産であること (牛乳・乳製品は100%)。かつ、製品に特徴を与える主要な加工工程がスイス国内で行われていること。
工業製品	製造コストの60%以上がスイス国内で発生していること。かつ、製品に本質的な特性を与える主要な製造工程がスイス国内で行われていること。
天然産品	採取・収穫・飼育などがスイス国内で行われていること (例: スイスで収穫されたリンゴ)。
化粧品	研究開発 (R&D) および生産コストの80%以上がスイス国内で発生していること。かつバルク (中身) の製造と一次包装がスイス国内で行われていること。
サービス	会社の登記上の本社がスイスにあり、かつ実際の管理部門がスイスにあること。